

■ 初回セットアップ手順書

【注意】以下のセットアップは、利用する Windows アカウントで行ってください。※以下で利用する Gemini CLI は、Windows ユーザーごとに独立した設定を持っています。そのため、別のアカウントでインストールした Gemini CLI は動作しません。その他ソフトも利用者アカウント以外(管理者アカウント等)でインストールすると、利用者アカウントでそのソフトを利用できない可能性があります。管理者アカウントが利用者アカウントである場合は、管理者アカウントでセットアップを行って問題ありません。

【重要】ExcelAITalk を保存する場所について

ExcelAITalk を OneDrive やクラウド同期フォルダの中に保存して使用すると、正常に動作しない場合があります。

✓ 推奨される保存場所

ExcelAITalk は クラウド同期の影響を受けないローカルフォルダに保存して使用してください。

例：

- C:¥ExcelAITalk_v100¥ExcelAITalk_v100.xlsm (推奨) ※
※ExcelAITalk_v100 のフォルダごと、C ドライブ直下など、クラウド同期されない場所に移動して、そのフォルダ内の ExcelAITalk_v100.xlsm を実行して使用するようにします。ExcelAITalk_v100.xlsm のショートカットを作成し、それをデスクトップに貼り付けて使用することを推奨します。
- 外付け SSD / HDD (任意)

✓ すでに OneDrive 上に保存している場合

次の手順でローカルに移動してください。

1. ExcelAITalk のフォルダを右クリック
2. 「切り取り」を選択
3. C: などのローカルフォルダに貼り付け
4. Excel を再起動して開き直す

これで ThisWorkbook.Path が正しいローカルパスに戻り、ExcelAITalk が正常に動作します。

※重要：外部サービスの仕様変更について

本ソフトのセットアップでは、Google AI Studio、Google Cloud、VOICEVOX Engine など外部サービスを利用します。これらのサイトやアプリは、デザインやメニュー構成が予告なく変更される場合があります。

本手順書ではできる限り分かりやすく説明していますが、画面が本書と異なる場合は、「サービス名 + 設定したい項目名」などで検索し、最新の情報をご確認ください。

また、PC の環境（Windows のバージョン、セキュリティ設定、企業 PC など）によって表示や操作が異なる場合があります。その場合も、お手数ですがご自身の環境に合わせて設定を進めてください。

初期設定は少し手間がかかりますが、一度設定すれば、あとは Excel だけで動作します。

1. はじめに

本ソフトを正しく動作させるためには、以下の 4 つの準備が必要です。

1. Gemini API キーの取得
2. Windows の環境変数設定
3. Node.js をインストール
4. Gemini CLI をインストール
5. Google Cloud の支払い設定（重要）
6. VOICEVOX Engine (run.exe) の設定

順番に進めてください。

2. Gemini API キーの取得

1. Web ブラウザで「Google AI Studio」と検索
2. Google アカウントでログイン
3. 左メニューの「API キー」を開く
4. 「新しい API キーを作成」をクリック
5. 表示された API キーをコピーする

※ API キーは他人に絶対に教えないでください。

3. Windows の環境変数に API キーを登録（最重要）

1. Windows の検索欄に「環境変数」と入力
2. 「システム環境変数の編集」を開く
3. 右下の「環境変数(N)…」をクリック
4. 上側の「ユーザー環境変数」で「新規」をクリック
5. 以下を入力

項目 入力内容

変数名 GEMINI_API_KEY

変数値 取得した API キー

6. OK を押して閉じる
7. PC を再起動する（重要）

※ 再起動しないと Excel が環境変数を読み取りません。

4. Google Cloud の支払い設定（重要）

API キーを作成しただけでは、Gemini API は動作しません。Google Cloud の「支払い方法（クレジットカード）」登録が必須です。

1. Google AI Studio を開く
2. 左メニューの「支払い」を開く
3. クレジットカードを登録
4. プロジェクトの「請求先アカウント」を有効化

4-1. 利用上限（Spending Cap）について

利用上限に達すると、API が完全に停止します。

● 上限に達したときの症状

- Excel が「質問中」のまま止まる
- Gemini CLI が応答しない
- エラーが表示されないことがある

● 上限確認方法

1. Google AI Studio
2. 左メニュー → 「支払い」
3. 「利用上限（Spending Cap）」を確認

■ Node.js をインストール

Node.js のインストール手順（丁寧版・確実に成功する手順）

① Node.js のダウンロードページを開く

<https://nodejs.org/ja/download>（公式サイト）

② 上部の OS 選択プルダウンで Windows を選ぶ

ページ上部にある OS 選択メニューから Windows を選択します。

③ 下部のプルダウンで

- x64
- Windows を選択する（ほとんどの PC は x64 なのでこの選択で問題ありません）

④ 「Windows インストーラー (.msi)」をクリック

「Windows インストーラー (.msi)」というボタンがあるのでクリックしてダウンロードします。（公式ページにも“Windows インストーラー (.msi)”と記載があります）

⑤ ダウンロードしたインストーラーを起動

ダブルクリックして起動します。

⑥ インストーラーの指示に従って進める

基本的に **Next** → **Next** → ... → **Install** で問題ありません。

■ Gemini CLI をインストール

コマンドプロンプトを起動します。そして、以下のコードを実行します。

1. 次のコマンドを入力してホームフォルダへ移動

コード

```
cd %USERPROFILE%
```

2. Gemini CLI をインストール

コード

```
npm install -g @google/gemini-cli
```

3. gemini を起動

コード

```
gemini
```

4. 自動で次のメッセージが表示されます

Do you trust the files in this folder?

1. Trust folder (ユーザー名)
2. Trust parent folder
3. Don't trust

Trust folder (ユーザー名) を選択してください

これで、Gemini CLI が正しく信頼フォルダを設定します。

【補足】 Gemini CLI セットアップ時の「Trust folder?」画面について（重要）

Gemini CLI のセットアップ中に、以下のような英語の画面が表示される場合があります

す。

コード

Do you trust the files in this folder?

1. Trust folder (System32)
2. Trust parent folder (WINDOWS)
3. Don't trust

これは、「このフォルダにある設定ファイルを読み込んでよいか？」という確認メッセージです。

なぜこの画面が表示されるのか

PowerShell を「管理者として実行」した場合、初期位置（現在のフォルダ）が

C:\Windows\System32 になることがあります。

System32 は Windows の重要なシステムフォルダのため、Gemini CLI が安全のために確認を行っています。

この場合、何も選択せず、一度コマンドプロンプトを閉じて、再度コマンドプロンプトを開いてください。そして、

1. 次のコマンドを入力してホームフォルダへ移動

コード

```
cd %USERPROFILE%
```

2. gemini を起動

コード

```
gemini
```

3. 自動で次のメッセージが表示されます

Do you trust the files in this folder?

1. Trust folder (ユーザー名)
2. Trust parent folder
3. Don't trust

Trust folder (ユーザー名) を選択してください

これで、Gemini CLI が正しく信頼フォルダを設定します。

Gemini API Key の設定

メニューから **Use Gemini API Key** を選び、Google Cloud で取得した API キーを選択し

てエンター。※ここまでのセットアップで環境変数の設定にて API Key を設定しているので、ここではそれが自動的に読み込まれて使用されます。

完了後、ブラウザを閉じます。

5. VOICEVOX Engine の準備

音声読み上げ機能を使う場合は、VOICEVOX Engine が必要です。

5-1. VOICEVOX Engine の入手方法

1. Web ブラウザで「VOICEVOX ENGINE」と検索
2. GitHub の「VOICEVOX/voicevox_engine」を開く
3. Releases (リリース) ページを開く※ダウンロードページ
4. 「Windows (CPU 版)」をダウンロード
5. ZIP または 7z ※を解凍
6. フォルダ内の **run.exe** を確認

※5-2. 7-Zip が必要な場合があります

VOICEVOX Engine は **.7z 形式** で配布されることがあります。Windows 標準機能では解凍できないため、必要に応じて **7-Zip** をインストールしてください。

1. Web ブラウザで「7-Zip」と検索
公式サイトからダウンロード後インストール
<https://7-zip.open-source.jp/download.html>
↑アドレスは変更される可能性があります。その場合インストール方法など説明されているサイトも多いのでそれらを参考にしてください。

2. VOICEVOX Engine の .7z を右クリック → その他のオプションを確認 → 「7-Zip」 → 「展開」

3. C ドライブ直下に展開します。※

※事項の説明になりますが、本ソフトでは、VOICEVOX エンジンの実行ファイル **run.exe** の場所を設定する必要があります。

初期設定では、次のパスが自動入力されています：

C:\¥voicevox_engine-windows-cpu-0.25.2¥windows-cpu¥run.exe

これは、VOICEVOX エンジンを C ドライブ直下に配置した場合の標準パスです。

✓ 別の場所にインストール(展開)した場合

VOICEVOX エンジンをデスクトップや D ドライブなど、別の場所に置いた場合は、Settings シートの「VOICEVOX 実行ファイルのパス」欄を変更してください。

6. run.exe のパスを設定する (重要)

本ソフトは、Excel 起動時 (Workbook_Open) に **run.exe** を自動起動します。

そのため、正しいパスを設定し、Excel を再起動する必要があります。再起動しないままソフトを使用しないでください。

6-1. パス設定手順

1. VOICEVOX Engine を解凍したフォルダを開く
2. **run.exe** を shift を押しながら右クリック ※→ パスのコピー
※拡張子.exe は PC の設定により見えないことがあります。その場合、run を shift を押しながら右クリックします。
3. 本ソフトの **Settings** シートの **B6** に貼り付ける
4. ただしこのままではパスの両側に“”がついているので、それを削除してパスのみにする。
例：“C:¥VOICEVOX_ENGINE¥run.exe” → C:¥VOICEVOX_ENGINE¥run.exe
5. Excel を 保存して閉じる
6. Excel を再度開く (run.exe が自動起動)

6-2. 「\」と「¥」について (重要)

Windows では、バックスラッシュ「\」(※実際は半角)が 日本語環境では「¥」に見えることがあります。

どちらも 同じ文字です。

例：

コード

C: \VOICEVOX_ENGINE\run.exe

C: ¥ VOICEVOX_ENGINE ¥ run.exe

どちらも正しいパスとして扱われます。

6-3. run.exe が見つからない場合

以下のようなエラーが表示される場合があります：

コード

VOICEVOX Engine (run.exe) が見つかりませんでした。

● 考えられる原因

- B6 のパスが間違っている
- VOICEVOX Engine のフォルダを移動した
- フォルダ名に日本語が含まれている
- run.exe が削除または移動された
- run.exe のパスを””で囲んでいる

● 対処方法

1. VOICEVOX Engine のフォルダを開く

2. run.exe の場所を再確認
3. 正しいフルパスを B6 に入力
4. Excel を保存して閉じる
5. Excel を再起動する

7. API キー確認（動作チェック）

1. Settings シートを開く
2. 「API キー確認」ボタンをクリック

● 正常

「API キーが正常に読み取れました」

● エラー

「API キーが確認できませんでした」

以下を確認してください：

- 環境変数名が GEMINI_API_KEY になっているか
- API キーに空白や改行が入っていないか
- PC を再起動したか
- Excel を再起動したか
- Google Cloud の支払い設定が完了しているか
- Spending Cap に達していないか

8. よくあるトラブルと解決方法

■ 質問しても応答が返ってこない

- API キー未設定
- 課金設定未完了
- Spending Cap に達している
- Gemini API が混雑している

■ 音声が出ない

- run.exe のパスが間違っている
- run.exe が起動していない
- Excel を再起動していない

■ Excel が固まる

- API が応答していない（上限到達など）

以上でセットアップは完了です。